

番号	2
事業名	1. 一般木造住宅耐震補強等事業補助金 2. 耐震シェルター設置事業補助金
予算額(主な支出)	1. 補助金の増額分 500 千円×18 戸分 9,000 千円 2. 耐震シェルター 1,000 千円× 5 戸分 5,000 千円
特定財源	1. 県補助金(1/2) 4,500 千円 2. 県補助金(1/2) 2,500 千円
事業の概要	<p>■1. 一般木造住宅耐震補強事業補助金の制度拡大</p> <p>【概要】現在実施している「木造住宅の耐震補強工事補助金」について、三重県が補助額増額を決定したことを受け、上限額 500 千円の上乗せを行う。これにより自己負担を軽減し、住宅耐震化工事の実施促進を図る。</p> <p>【補助額】500 千円を上乗せすることにより、補助上限額は現在の 1,000 千円から 1,500 千円になる。</p> <p>【対象】補助対象となるのは、昭和 56 年 5 月 31 日以前に建てられた木造住宅で、耐震診断の結果「倒壊する危険性が高い」と判断された建物。</p> <p>【数量】本年度は18戸分を計上。</p> <p>【事業拡大年度】三重県補助金交付要領に合わせて令和8年度末までを予定。</p> <p>■2. 耐震シェルター設置事業補助金の新設</p> <p>【概要】三重県が補助事業実施を決定したことを受け、倒壊する危険性が高いと判断された木造住宅に、耐震シェルターを設置する際の補助制度を新設。</p> <p>建物全体を耐震化する住宅補強工事に対し、耐震シェルターは建物の1部屋だけを耐震化するものであり、安価に対策できることがメリット。</p> <p>【補助額】本体及び設置工事費の合計の1/2(上限 1,000 千円)</p> <p>【補助対象】耐震補強補助と同様に、昭和 56 年 5 月 31 日以前に建てられた木造住宅で、耐震診断の結果「倒壊する危険性が高い」と判断された建物。</p> <p>【数量】本年度は5戸分を計上。</p>
事業の背景など	南海トラフ地震対策、県補助金の増額措置
添付資料	なし
備考	なし
担当課	防災対策課 電話 53-4034